



## みっはし 三橋さぶろう 議会活動報告

### AEDの配置について質問

3月28日まで船橋市議会第1回定例会が開かれています。今回、私は市が設置しているAED（自動体外式除細動器）の効率的・効果的な配置について質問をしました。来年度7月に市が設置しているAED643台のうち395台がリースの期限を迎えます。その時に合わせて、効率的・効果的な配置されるよう改善を求めました。以下、2月28日に質問した内容の要約を記載します。

#### 質問者：三橋さぶろう

日本では年間約10万人の方が突然死されているそうです。心室細動で倒れた方には速やかに胸骨圧迫とAEDを使用することで、多くの方を救うことができるそうです。本市においても約640台のAEDが設置されています。この他にも駅やお店、企業や団体等が独自にAEDを設置しているところもあります。そこで市内に設置されているAEDがどのような状況なのかを約50か所を見てまいりました。そこで感じたこと、思ったことを質問してまいります。

人が倒れAEDを使用する場合は早ければ早い方がよい訳ですが、一般財団法人日本救急医療財団「AEDの適正配置に関するガイドライン2013」では心停止から5分以内に電気ショック、除細動できることが望ましい。としています。施設を回ってきましたがAEDが、この5分以内に使える距離に必ずしも配置されていないように感じます。市はAEDを設置する際にどのような基準で配置しているのでしょうか？

#### 答弁者：健康・高齢部長

AEDの配置にあたっては、一般財団法人日本救急医療財団の「AEDの適正配置に関するガイドライン」の中から「AEDの効率的・効果的な配置にあたって考慮すべきこと」などを参考に基本的な考え方を定めています。具体的には公共施設については、心肺機能が停止した状態にある者の発生頻度が高い施設や、目撃される可能性が高い施設などとしております。

#### 質問者：三橋さぶろう

それであれば配置場所や距離についてもしっかりと基本的な考えに取り入れるべきです。たとえば高瀬下水処理場上部運動広場や行田運動広場はAEDが一つしかありません。5分以内の電気ショック、除細動ができるのか判りません。一方でそれほど大きくない施設なのに2つAEDが設置されているケースもありました。効率的・効果的な配置とは言えません。（うら面へ）

### 三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(39歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業  
株式会社カネボウ  
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選  
・健康福祉委員会 ・民進党会派
- 特 技： クロスカントリースキー  
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ  
2002年ソルトレクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族：妻、息子(5歳)

(表面から)

限られた予算ですから AED の配置はよく検討されるべきです。宮本公民館。ここは宮本児童ホームも入っています。公民館事務室と児童ホームの事務室に1つずつ AED がありました。事務室といっても1つの部屋をロッカーやキャビネットで仕切られているだけです。実際の1つの部屋に2つの AED があります。その距離は約5メートルほどだと感じました。その他、1つの建物に複数の施設が入っているところでも似たような状況があり、それほど大きくない建物内に2つ AED が設置されているところがあります。現在の AED の配置について再び検討し効率的・効果的な配置を進めるべきだと考えますがご所見を伺います。

**答弁者：健康・高齢部長**

議員ご指摘のとおり、例えば公民館と児童ホームのような複合施設については、近接した場所に2台設置しているケースもありますことから改めて AED の設置について精査し効率的・効果的な配置となるように検討してまいります。

**質問者：三橋さぶろう**

次に AED の使用可能な時間について質問します。神奈川県海老名市では昨年7月から市内小中学校の屋外に AED 新設しています。その理由は今まで校舎内に設置してある AED だけでは5分以内の電気ショック、除細動が難しいこと、過去に地域行事の餅つき大会で人が倒れたが、校舎内にあった AED が使用できなかったこともあり屋外に AED を増設したそうです。

人は何時倒れるか判りません。そういった場合にも対応できるよう、学校の屋外にも AED を設置したほうが良いと考えます。学校以外の施設でも休日等で AED が利用できない時間帯がありますので建物の外壁等に AED を設置し、いつでも利用できるようにした方が良いと考えますが？

**答弁者：健康・高齢部長**

AED は製品ごとに動作保証条件が定められており、特に氷点下になるような環境下においては、バッテリーの出力低下や電極パッドの凍結等により、正しく作動しない可能性が指摘されております。AED を屋外へ設置する場合には専用のボックスを新たに設置する必要がありますが、通常のボックスよりも高額であり、費用面での課題があるほか、電源の確保、日常点検ができるかなどの課題もあります。さらに、屋外設置については、盗難のほかイタズラなどのリスクもあり管理面での課題もございます。しかしながら議員ご指摘のような状況もあることも認識しておりますので引き続き研究してまいりたいと考えております。

**質問者：三橋さぶろう**

AED を屋外に設置するには盗難対策と温度の二つの問題が解決できれば、AED を屋外に設置できるわけですが、海老名市では AED をリースで調達しており、動産総合保険に加入し盗難・紛失・故障した場合に備えております。そのため、金銭的な損失は発生しないそうです。個人的には盗難・紛失などのリスクが高まるとしても、救命のことを考えれば屋外に設置することの方が優先すべきだと考えます。2つ目の温度管理の問題です。この点について海老名市でお聞きしたところ、通常の収納ボックスに入っていれば冬場でも0度以下にならないそうです。さらに最近ではマイナス5度の環境でも操作が可能な AED もありますので、屋外に AED を設置することは十分可能です。船橋市の過去最低気温についても確認しました。気象庁のデータによりますとマイナス4.7度が過去最低でした。温度管理ができる収納ボックスを設置したほうが良いと思いますが、寒さに強い機種であれば通常の収納ボックスに設置できます。突然死を減らすためにも屋外に AED を設置し24時間利用できるように取り組んでいただくことを要望いたします。

(この他、AED を公用車へ搭載、自治会への助成制度、消防団への配備なども質問しました。詳細は HP をご覧ください。)

**ご意見やご要望をお寄せください。**

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 (新京成線習志野駅から徒歩4分)

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp HP: <http://mituhashisaburo.jp>

**三橋さぶろう** まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。